

がん悪液質の教育ニーズに関する医療従事者の国際調査 (GENESIS-CC)
に関する協力をお願い

一般社団法人 日本病院薬剤師会
会長 木平健治先生御侍史

平素より大変お世話になり誠にありがとうございます。この度「がん悪液質の教育ニーズに関する医療従事者の国際調査」(Global Educational Needs Evaluation: Systematic Interprofessional Survey in Cancer Cachexia, GENESIS-CC) についてのご協力をいただきたくご連絡いたしました。

がん悪液質に対する支持医療の進歩に伴い、医療従事者はがん悪液質をよく理解し、多職種で連携し、適切に治療する必要性が増しています。しかし現在の医療では、がん悪液質の医療情報や教育が医療従事者に十分に提供されているとは言えません。

そこで悪液質の国際研究組織である、The Society on Sarcopenia, Cachexia and Wasting Disorders (国際サルコペニア・悪液質・消耗性疾患学会, SCWD)は、がん悪液質の新しい教育プログラムの基礎情報を収集するため、国際的な実態調査を計画しました。日本はアジア地域を代表する調査対象国として、本調査に全面的に協力をすることとなりました。我が国のがん診療に関わる多くの職種の、多くの医療従事者に実態調査の協力をいただくことで、日本そして世界の医学教育の将来に貢献できると考えています。多く診療科のがん患者さんのケアに、継続的に介入する薬剤師の皆様は、悪液質ケアの中心的役割を担うと考えており、日本病院薬剤師会さまにご協力をお願いをさせていただきました。

調査の国内運営は GENESIS-CC 日本支部が担当しております。そして日本がんサポーターブケア学会 (JASCC) Cachexia 部会も、この重要なプロジェクトに、全力で協力してまいりたいと考えております。そこでぜひ日本病院薬剤師会の各部会、事務局の皆さまにご協力いただき、会員さま、関係者さまへの web 調査の配信と回答の促進をいただけますと誠にありがたく存じます。調査期間は 2021 年 2 月未までです。極めてタイトな日程で申し分ありません。調査内容と方法について次頁に示します。なにとぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本がんサポーターブケア学会 Cachexia 部会
静岡県立静岡がんセンター 内藤 立暁
京都府立医科大学大学院 高山 浩一

GENESIS-CC 日本支部
静岡県立静岡がんセンター 内藤 立暁
東京女子医科大学 若林 秀隆
新横浜在宅クリニック 城谷 典保
静岡県立静岡がんセンター 麻生 咲子
横浜市立大学 小西 正紹
順天堂大学 齊藤 正和
鹿児島大学 乾 明夫
(日本支部代表) 国立長寿医療研究センター 荒井 秀典

GENESIS-CC の国内調査開始の内容

1. **調査期間**：2021年1月18日（月）～2月末日予定
2. **調査対象者**：がんの診療に関わるすべての職種の医療従事者で、医師（診療科、勤務形態を問わず）、看護師（認定、専門の有無を問わず）、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士（管理）栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、公認心理士などを含む
3. **調査方法**：SurveyMonkey を用いた web アンケート調査（パスワードなし）。計 59 問の質問。所要時間約 20 分間。
4. **配信方法**：日本病院薬剤師会ホームページ、ニュースレター、メール、またはソーシャルメディア（Twitter, Facebook 等を含む）を用いた回答フォームリンクの配信（次ページ以降の鏡文案をご活用いただけますと幸いです）
回答フォームリンク（本番環境）：
<http://www.genesiscc.rytttrak.com/professional-practice-gaps-of-individuals-identifying-cancer-cachexia-assessment-japanese/>
5. **配信と回答者の範囲**：配信機関の会員のみに限定
6. **リマインド**：計 2 回のリマインドを予定しています。リマインド時期となりましたら、GENESIS-CC 日本支部よりあらためてご依頼をいたします。
 - 1 回目：調査開始から 2 週間後
 - 2 回目：調査終了の 2 週間前
7. **成果のフィードバック**：国際調査結果の第一報について Journal of Cachexia, Sarcopenia, and Muscle 誌の 2021 年 3 月号に掲載予定です。日本サブセット解析につきまして、国内学会ならびに誌上発表を計画中です。また、これらの主解析を終了後に、日本病院薬剤師会の参加者データの集計レポートを事務局さまに提供可能です。
8. **国内代表**：荒井 秀典（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長）
窓口：内藤 立暁（静岡県立静岡がんセンター, E-mail: t.naito@scchr.jp)
9. **国際代表**：The Society on Sarcopenia, Cachexia and Wasting Disorders（ベルリン）
Project Director: Tatiana Klompenhouwer
SCWD President: Stefan Anker
10. **研究助成**：米国 Pfizer Inc.（2020 年～2021 年）
11. **協力機関**（2021 年 1 月 29 日時点）：
 - 【国内】日本がんサポーターブケア学会、日本サルコペニア・悪液質・消耗性疾患研究会、日本サルコペニア・フレイル学会、日本リハビリテーション栄養学会、日本がんリハビリテーション研究会、日本がん看護学会、日本緩和医療学会、日本緩和医療薬学会、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会
 - 【海外】国際がんサポーターブケア学会、米国静脈経腸栄養学会、欧州静脈経腸栄養学会、欧州がん学会、欧州看護学会、米国臨床腫瘍学会など
12. **臨床試験登録**：がん悪液質の教育ニーズに関する医療従事者の国際調査 日本サブセット（UMIN000043030, 令和 3 年 1 月 18 日公開予定）